

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
世界の福祉		選択	2	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田村 正人	B308	masato.tamura	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉本科目では、医療・福祉の制度は国や文化圏等によって異なるが、その背景について国際的な視座から医療・福祉の動向を捉えることの重要性について考え、理解を深めることを目的とする。</p> <p>〈概要〉国際的な医療・福祉の動向について、制度や政治経済、文化的な背景等の視点から学び、国際的な視座から医療・福祉を考えることができるように授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	日本をはじめ、世界の医療・福祉の動向に関するニュースに関心をもつようにして、新聞やテレビ、インターネットなどから情報収集をして探究を積極的に行うことが望ましい。				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	なし。				
外部教材	ない。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	福祉国家の成り立ちと課題について理解し、説明することが出来る。			HSU(2)(5)(6)、HC(1)(3)(4)	
②	日本および世界の福祉の現状と課題を理解し、説明することができる。			HSU(2)(5)(6)、HC(1)(3)(4)	
③	国際協力の役割と必要性について理解し、説明することが出来る。			HSU(2)(5)(6)、HC(1)(3)(4)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 「福祉国家とは何か」について学ぶ	講義	シラバス内容を把握する。		4
2	福祉国家の成り立ちを、歴史的変遷から学ぶ	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
3	北欧諸国の医療・福祉の特徴と課題について学ぶ	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
4	イギリスの医療・福祉の特徴と課題について学ぶ	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
5	アメリカの医療・福祉の特徴と課題について学ぶ	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
6	韓国の医療・福祉の特徴と課題について学ぶ	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
7	中国の医療・福祉の特徴と課題について学ぶ	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
8	東南アジア諸国の医療・福祉の特徴と課題について学ぶ	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
9	イスラーム世界の医療・福祉の特徴と課題について学ぶ	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
10	日本の医療・福祉の特徴と課題について学ぶ	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
11	国際協力の分野における国際連合と非政府組織 (NGO) の役割と取組みについて学ぶ 1 (アフリカ、中東)	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
12	国際協力の分野における国際連合と非政府組織 (NGO) の役割と取組みについて学ぶ 2 (東南アジア)	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
13	経済活動からみた国際的な医療・福祉への取組みについて学ぶ	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
14	国際紛争の背景、解決の取組みについて学ぶ	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
15	日本における外国人問題について学ぶ	講義	配布資料を参考に関連情報を探究する。		4
試	学期末レポートで行う 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	40	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	学期末レポートにより、学習の達成度を評価する（70点満点）。 提出は、Teams 上の指定した形式にて提出をする。				提出したレポートは採点をして Teams にて返却をする。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業終了時に、リアクションペーパーを提出してもらい、 学んだこと、学習意欲等について確認評価する。				質問があった場合、授業内にて共有をする。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
教員の実務経験	社会福祉士として認知症高齢者や知的障害者、精神障害者の成年後見人の受任や、障害者の権利擁護法人の運営等をして 10 年の実践経験。						
実践的授業の内容	日本および、世界の医療・福祉の特徴や課題について理解を深めるために、具体的な事例を紹介するほか、必要に応じて視聴覚教材を使用して授業を進める。						
そ の 他	<p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 ・シラバス内容を講義の進行状況によって変更することがあり得る。 ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は原則禁止する。 ・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退室をしてもらう。 						